

自己評価結果票

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・事務所の壁に当グループホームの理念を掲げ職員の目に付くところにいつもあるようにしている。さらに、地域密着型サービスとして「OPENNESS～開かれたホーム創り～」というコンセプトを作っている。	○	・当ホームの理念を全スタッフが覚えたり、言えるだけでなく理念を心に置いたケアを全員が出来るように指導していけるように取り組んでいきたい。
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・定期的な勉強会や、ミーティング等でホームの理念や目指す方針について確認を行っている。		
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	・家族や地域に、理念を理解していただけるような取り組みが不十分である	○	・行事や家族との交流がもてる際に理念を理解していただけるようにはたらかける。
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・自治会に参加したり、自治会主催のイベントに場所を提供している。	○	・日常的にふれ合えるような場をつくっていきけるようにしていった。
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・月1回の自治会の会合に参加している	○	・自治会の会合への参加が主で、十分な交流が出来ていないので、地域の方に気軽に参加していただけるようなイベントを計画している。

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・地域密着型として何が出来るか話し合いは行っているが、具体的には取り組めていない。	○	・今後も話し合いの場をもち、実践出来るようになっていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価の結果については職員間で話し合い、理解している	○	・内容については把握しているが、実質的な動きがとれていないため、今後定期的に行っている、ミーティングなどを利用して、ひとつでも改善していけるように取り組んでいきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議の場で、運営の状況や、ホームの取り組み、状況報告などについて話し合いを行っている。	○	・今後もっと利用者様、ご家族様、近所の方々の意見を聞き運営推進会議に反映させ、サービス向上に活かしていきたい。
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・市町担当者ではないが、あんしんすこやかセンターの職員と運営推進会議以外にも行き来する機会があり、連携がとれている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・必要に応じて活用できる体制をとっている。過去に成年後見制度を活用された方がいたが現在は無い。	○	・職員全員が学ぶ機会を設けていなかったため、今後学ぶ機会をつくり必要な方にはそれらを活用出来るように支援していきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・管理者をはじめ職員全員が虐待防止法について勉強会を行い周知し、理解を深めている。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得	・契約時は、ご家族から不安な点や疑問点、ホームへの要望などを聞き充分な説明が行えている。		
	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
13	○運営に関する利用者意見の反映	・苦情相談窓口を設け、重要事項説明書に明示し、契約時にも説明をおこなっている。各階の入り口に意見箱を設置し、利用者、ご家族の意見、不満、苦情を聞けるようにしている。	○	・利用者様、ご家族様がもっと意見を出しやすい環境・方法を検討し、取り組んでいきたい。
	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
14	○家族等への報告	・ご家族が面会に来られたときに利用者様の様子を報告し、月に1回の「ひだまり」(ホーム便り)で報告出来ている。※ひだまりの内容は個々に合わせて作成している	○	・職員の異動等、ホームの細かい報告が充分でない事と月に1回の「ひだまり」での報告も充分でないように思えるため、定期的に個々に合わせた報告ができるように取り組んでいきたい。
	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている			
15	○運営に関する家族等意見の反映	・苦情相談窓口を設け、重要事項説明書に明示し、契約時にも説明をおこなっている。各階の入り口に意見箱を設置し、利用者、ご家族の意見、不満、苦情を聞けるようにしている。		
	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
16	○運営に関する職員意見の反映	・定期的ではないが、職員の意見や提案を聞く場を設けている	○	・定期的な機会を設けていきたい
	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている			
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整	・利用者や家族の意見に柔軟に対応できるように職員を確保している。		
	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている			

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・介護職の離職率が高い現状を最小限に抑える為に、管理者をはじめ、職員と話し合いの場を設けながら、会社のレクリエーション、勉強会、評価制度等いろいろな取り組みをおこなっている。</p>		
5. 人材の育成と支援			
<p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・現在、各ユニット毎の勉強会を月に1回行い、毎朝申し送りの時間を利用し、5～10分のミニ勉強会を行ったり、外部の研修では、ボードに貼り、参加を促すなど、学べる機会を少しでも多くもっている。</p>		
<p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・小地域ネットワーク連絡会を地域の同業者とつくり、定期的な会議をおこなっている。それぞれの事業所の特徴を活かした勉強会やイベントをおこない、相互訪問出来る機会を多くもつようにしている</p>		
<p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・会社で年に数回のレクリエーションを実施している(バーベキュー、忘年会等)。1階には職員の疲れを癒すマッサージチェアを設置している。</p>		
<p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・年に2回の評価制度を設け、個々の就業状況を適切に評価し職員のやる気を引き起こせていると思う。</p>		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・ご本人自身から、困っていること、求めていることを細かく聞き少しでも不安を減少できるよう努めている。	○	・アセスメントシートをもっと細かい内容にし、もっとご本人の不安に思っていることや困っていることを多く情報収集できるようにしていきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・ご家族からは見学の段階でも、ご不安に思っていることや、困っていることを聞くようにし、信頼関係を築くよう努力している。	○	・利用に至るまでの間もご家族の状況を把握し、困っていることがないか等の聞ける機会をつくってきたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・在宅サービス、介護保険サービスについて説明をしている。細かい情報収集に努め、必要としている支援を見極めてケアマネージャーに連絡、相談を行っている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・ご本人が安心し、混乱をしないように入居までの間や入居に至るまで入居後等、細かくご家族と相談し、いままでの生活パターンを崩さないように居室内の準備も行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	・当グループホームの理念にもあるように職員は利用者と心と心のふれあいを大切にし、共に過ごし、できることとできないことを見つけ出し、出来ることは利用者様から学び、出来ないことは一緒にし支えあうことのできる関係を築いている。	○	・センター方式を利用しているがまだ充分でないため、さらに活用し、日々の利用者様の声をもっと集め、さらに寄り添ったケアができるような取り組みをしていきたい。

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
28	○利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	・月1回のホーム便り「ひだまり」を発行し、個別に内容を変えて利用者様の日々の生活が分かっていたようにし、面会に来られた際や、お電話をする際に、状況報告も行っている。	○	・「ひだまり」が数回、ストップしてしまったことがあった為、今後必ず継続していくような取り組み、内容の充実を図っていきたい。
29	○利用者と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・ご家族様と連絡をとりながら状況報告を行い、相談しながら交流の場を持っていただくよう支援している。	○	・もっと密にご家族様と連絡をとり、ご家族様と職員との関係作りもさらに深めていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・生活歴や、ご本人様、ご家族様に情報収集を行ったり、回想法、センター方式を通じて日々のケアに努めている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・利用者様同士の関係を把握し、仲の良い方同士で園芸、散歩に出かけたり、座る位置等の検討をはじめ、利用者様同士の関係作りに努めている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・退所される際、いつでもご相談に応じ、いつでも来ていただける事を伝えている。退所後、御家族様が訪問して下さったことがある。	○	・今後も、退所後のご家族様との連絡を取ることが少なくなってもいつでも気軽に来ていただけるホーム創りを目指していきたい。

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・ご入居前にご本人様、ご家族様より、情報収集を行い、それ以外でも日々のコミュニケーションからの情報収集にも努め、常にご本人様の希望、思いを聞けるようにし困難な場合はご家族様とも相談し、少しでもご本人様の思いに近づけるように表情、しぐさを観察している。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・ご入居時には生活歴、馴染みの場所、物、環境を細かく情報収集し、ご入居後も変わりなく情報を日々の会話の中で見つけ出し、経過などの把握に努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・毎朝の申し送り、日々の記録、連絡ノート等を通して、全職員が利用者様、お一人おひとりの把握に努め、適時、ミニカンファレンスを行っている。	○ ・今年からセンター方式を利用してさらに細かい情報収集に努めているが、シートの活用がまだ充分でないため、シートの活用をさらにしていきたい。
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・ご家族様、利用者様のご意見、希望をお聞きしながら介護計画を作成するように努めているが現状、不十分なところもある。	○ ・ご家族様との連絡をもっと密に行い、利用者様からももっと希望や思いを聞き出し、介護計画を作成できるよう取り組んでいきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・見直しをし、モニタリングも徹底できてきているが、その場、その状況に即した新たな計画作成については数名不十分である。	○ ・介護計画の見直しをはじめ、状況に即した計画作成の徹底に取り組んでいかないといけない。

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日々の記録(日誌・個人記録・摂取表・排泄表)は徹底し、特記は連絡ノートでの報告を行い、周知するように徹底し、情報を共有して実践している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・自治会に入会し、地域の行事、消防訓練等に参加したり、ホームの1階を会場として使って頂いたりしています。		
41	○他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている			
42	○地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・小地域ネットワーク連絡会議への参加、運営推進会議での密な意見交換、又は、1階の会場を地域包括支援センター主催の行事開催時の場所の提供を行ったこともある。	○	・今後もさらに深い関係作りをしていきたい。

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<p>43</p> <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・同グループ内の提携医による2週間に1回の往診を行い、ご家族様の希望や、利用者様の状態に応じて適切な医療機関の受診をしていただいている。</p>		
<p>44</p> <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>・認知症の症状、状態に応じてご家族様了承のもと、認知症専門医療機関の受診もおこなっている。</p>		
<p>45</p> <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>・かかりつけ医の看護職員に2週間に1回訪問してもらい、日常の健康管理の相談等を気軽に行える。電話でも適時報告を行い、必要なときには、訪問日以外の日でも対応していただいている。</p>		
<p>46</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>・入院させる場合の提携病院があり、情報交換や相談、状況確認を随時行っている。入院をされる場合は、ホームとしてできる範囲の事をご家族様に話し、連携しながら退院に向けて入院先の主治医、看護師と常に連絡をとり、退院できる時期に備えている。</p>		
<p>47</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・利用者様の希望、ご家族様の希望を常日頃から聞き、それをもとに管理者、職員全員、主治医が話し合いを行っている。</p>	○	<p>・今後も定期的に話し合いの場を設け、利用者様にとってよりよい方針が出せるように取り組んでいきたい。</p>
<p>48</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>・利用者様の希望、ご家族様の希望をもとにし、ホームのできることで、できないことも聞き入れていただき、重度、終末期のケアを行っており、現在に至るまで数例あり、重度、終末期にあたっての医療連携も確立している。</p>	○	<p>・今後も重度化や終末期の利用者様が日々、安心して、よりよく暮らしていただくために、ご家族様との信頼関係を築き、医療との連携もさらに深めていき、職員も重度か、終末期ケアに取り組み、勉強会、研修などを通してスキルアップを図っていきたい。</p>

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・ダメージを防ぐ為に、細かく記した情報提供書を作成するだけでなく、関係者、担当者には、直接口頭での細かい説明も行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・勉強会、ミーティング等をはじめ、定期的に職員に指導している。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・日々のコミュニケーションを大切に、常にご本人の思いに沿った支援を行い、自己決定の大切さも職員に指導している。	○	・自己決定の大切さ、利用者様が思いや、希望を表せる支援についてもっと職員の勉強も必要であるように思うため、認知症実践者研修に受講した職員等が伝達講習できる場をたくさんもてるように取り組んでいきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・ご入居前の情報収集、入居後の情報収集で利用者様の生活歴、趣味・嗜好、心身の状態を常に把握し、考慮しながら過ごしていただけるよう支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・行きつけの美容院へ行ったり、外出が困難な方には訪問美容なども利用している。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事が楽しみになるよう、一人一人の好みを聞き出し、献立に取り入れるようにしている。食事の前には必ず、職員と一緒にテーブルを拭いたり、後片付けをしたりと個々に合わせて、得意分野を活かし(焼く・煮る・盛りつけ・テーブル拭き等)、食事に楽しみを持っていただくよう働きかけている。		
55 ○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・お酒、煙草の希望は今のところないが、毎週日曜日には「晩酌の日」を決め、おやつは食べたいものを聞き、利用者様と一緒におやつ作りもしている。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・お一人おひとりの排泄パターンを把握し、少しでも自立へ向け、気持ちよく排泄していただけるよう職員で適時話し合っています。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入浴日はある程度決めているが、毎日お風呂をわかし、毎日好きな時、好きな日にいつでも入れるよう支援できている。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・個々に応じた、睡眠パターン等を把握し、夜間目無理が浅い利用者様にはアセスメントを行い、日中のご様子をもっと把握し、活気ある時間を過ごしていただき、気持ちよく眠れるよう支援しています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・入居前、入居後も常に細かい情報収集につとめ、日々の会話からでも情報を集め、日常的に行える、個々それぞれの今までの生活に密着した支援を行っている。(お料理・洗濯・体操・書道・園芸等)		


項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・お金を持っていらっしゃる利用者様はいますが、使う機会が少ない。	○	・日常生活用品として月に2000円ご家族様からお預かりし、利用者様の必要に応じ、一緒に買い物に行ったりしているが、ご本人が持っているお金を使う機会ももうけていきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・行事の計画での外出はあるが、日常的な外出は少なくなってきている。	○	・日常的な外出を多く持てるように取り組んでいきたい。近くの公園や、庭にはよく出かけるが、馴染みの場所などをもっと日常的に出かけることが出来るよう取り組んでいきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・お一人おひとりの行きたい場所や馴染みの場所を日頃から聞き出し、可能な限り行っている。車椅子の方でも前もって計画を立てて、安全にお出掛けが出来るよう工夫しています。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話を希望される利用者様にはあらかじめご家族の了承を得てからしていただいたり、無理な場合はご本人を傷付けないような言葉かけをおこなったり、個々に合わせた対応を心掛けています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・ご家族様を招待するイベントには昔からのなじみの方にも声をかけさせていただいたりしてるが回数が少ないように思える。	○	・ご家族様、知人の方などもっとホームに来ていただけるような働きかけをしていきたい。その為には関係作りも必要であり、ご家族の方々が気軽にホームに来ていただけるような取り組みを話し合っていきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・勉強会で、身体拘束の対象となる具体的な行為について行い、身体拘束をしないケアに取り組み、常日頃から職員に声かけも行っている。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・居室には鍵はかけていないが、各階の木戸の扉は直ぐに階段があるため、危険が伴うとの判断で鍵をかけている。	○	・危険回避の為の話し合い等を行い鍵をしていない状況を作っていきたい。リスクマネジメントの勉強会も行っていけないと行けない。
67 ○利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・日中は必ず職員はリビングにおり、個々のプライバシーを配慮し、個々の行動パターン等も把握し、所在、様子を常に見届けていれている。夜間も個々の状態に合わせた時間の巡視も行っている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・注意が必要な物品を取り扱ったりする際、必ず職員が近くに寄り添い、なくすのではなく、個々に応じた危険除去の対応を心掛けている。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・勉強会で数回行い、日頃の申し送り、連絡ノートなどに状態が少しでも変化し、事故などを防ぐ働きかけが来ている。ヒヤリハットも事務所に設置し、事故防止の意識向上にも努めている。	○	・嚙下困難な方が数名いらっしゃるの、毎食前にリスク対応を話し合いながらケアできるよう徹底していきたい。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・急変時に備えて電話の近くに「緊急連絡網」「緊急事態発生時の対応」を貼っている。初期対応の勉強会を行っている。	○	・勉強会も数回したが、ただだけでなく、緊急時の対応内容は特にこまめに再確認して緊急時の際、速やかに判断、動きがとれるように常に職員に認識してもらえるように取り組んでいきたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・地域で行われる消防訓練には、利用者様も数名参加していただいたり、年に2回の消防訓練も行っているが、参加出来なかった職員も数名いる。	○	・職員全員が消防訓練には毎回参加できるような働きかけを行い、災害に備えて直ぐに避難できる方法を全員が身につけられるように取り組んでいきたい。

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・体調の変化や、状態によっては家族様に連絡を行い、リスクについての説明と相談を行っている。	○	・日頃から、ご家族様ともしっかりと連絡を取り合い、こまめな報告ができる関係作りがもっと必要に思えるため、月に1回の「ひだまり」だけでなく、他にも方法を検討していきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・体調の変化や異変にすぐ発見できるように日頃の観察をしっかりとこなすようにし、気づいた際には、報告、対応が出来るよう勉強会だけでなく、日々の申し送り時にも勉強している。		
74 ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・定期の薬の変更があった際には、必ず申し送りも徹底し、症状の変化などを細かく記録するようにしている。誤薬防止の為に薬局で一人ひとりの薬を分包してもらっている。又、「お薬ファイル」を作っており、利用者様個別に薬の名前、効能が記載している用紙を保管している。		
75 ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・毎日排便チェックを行い、便秘がちの方には腹部マッサージやウォーキング等の運動をしていただけるようにはたらきかけ、水分補給の徹底と、便秘の原因をアセスメントに努め便秘がちなかたへは便秘解消に向けて取り組んでいる。。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後口腔ケアを行い、個々に応じた口腔ケアを行い、常に職員が側で見守りしている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・摂取表に食事量を記入する際に、残した物を記入したり水分摂取も何を飲用したか摂取量の横に記入するようにしている。摂取にムラがあったり、摂取が充分でない方には必ず申し送りを徹底し、水分・食事の摂取につとめている。	○	・摂取表の横にその日の献立等を貼り付けるなどの、工夫をいいていきたい。

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	・定期的に勉強会をおこなっている。職員の意識向上のためにもキッチンには感染防止マニュアルを冊子にして飾っている。食事前の手洗い・消毒の徹底とテーブル・トレイの消毒も毎食前、後と行っている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・食中毒予防の為に、キッチン担当者を決め、調理用具冷蔵庫内、衛生管理をこまめに行うようにしており、キッチン確認表を作成し、スタッフ全員が目を通すようにしている。食材の管理は食材管理委員がおこなっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・玄関入り口には季節の花と野菜を育て、庭にも畑や温室があり、気軽にご家族の方々にも来ていただけるようにしています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・玄関や庭には季節の野菜や花を育て、廊下や居間には毎月、利用者と職員と一緒に作成した壁画が飾っており、台所では調理をしているところが居間から見え、調理の音や、においが感じいただけるようになっている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・廊下にはベンチを設置しており、二人きりではなせたり一人で過ごせるスペースがある。リビングにも畳のスペースがあり、ごろ寝ができるようになっている。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・入居前に家族、ご本人から情報収集をおこない、馴染みの環境がとて大切であるということをお話しし、思い入れのある家具、物は特に持ってきていただくようにしている。</p>		
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>・リビングには2~3カ所温度計を設置し、各居室にも温度計を設置し常に温度の確認を行い冷暖房、窓を開けて換気にも努めている。また、温度だけでなく利用者様の身体状況もチェックしている。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・車椅子の方の部屋や、テラスへの出入り口にはスロープを設置し、行き来が出来やすいようにしている。トイレは車椅子の方には狭いので一カ所拡張し、ゆったりとお手洗いができる工夫をしている。階段は昇降機を利用。</p>	○	<p>・洗面所は車椅子の方に対応していない部分があり、今後改善できるように検討していく。</p>
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>・一人ひとりの状態を把握し、混乱を避けるために座席、トイレ・居室等分かりやすいように、見やすい色、高さを考慮しながら表札を変えたり等工夫をしている。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>・3Fベランダには花や、果物の植木鉢があり、1Fには温室がある。屋上には車椅子の方でも園芸が出来る特別なプランターがあり、車椅子の方でも園芸を楽しんでいただける工夫が出来ている。</p>	○	<p>・花や果物を地域の人、利用者と共に育てできた野菜などで、料理をしたり近所の方々に配ったりしていきたい。</p>

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		事業所が示す、取り組みの成果 (該当する箇所の番号の前に○印をつける)
項	目	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		事業所が示す、取り組みの成果 (該当する箇所の番号の前に○印をつける)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)